

緩和ケア新聞



令和元年8月

飛騨市民病院では緩和ケアチームを平成18年に発足以来、緩和ケア推進のために邁進しています。また平成19年には緩和ケア外来も開設し並行して活動しています。



「緩和ケア」ってなあに？

緩和ケアとは、がんなど生命を脅かす病気と診断された時から治療の間、そしてその後の生活の中で生じる身体的な苦痛や気持ちのつらさを少しでも和らげるため、それぞれの患者さんとご家族が“その人らしく”過ごせるように支援させていただくことです。

生涯自分らしく在るために

あなたは「もしものこと」を考えたことがありますか？私たちは、いつでも命に関わるような大きな病気や怪我をして命の危険が迫った状態になる可能性があります。

命の危険が迫った状態になると**約4分の3の方が**これからの治療やケアなどについて**自分で決めたり、人に伝えたりすることができなくなる**と言われています。

生涯自分らしく在るためには、治療やケアに関する考えをあなたの大切な人と話し合っておくと、もしもの時にあなたの考えに沿った治療やケアを受けられる可能性が高くなります。これを機会に一度話し合ってみてはいかがでしょうか。

<緩和ケア外来>

毎週火曜日
診療時間15:00～17:00
受付時間16:30まで
問い合わせ先：
TEL.0578-82-1150(代)

<主な相談内容>

- ☆ 痛み、だるさ、息苦しさなどの変調について
- ☆ 病気になったことで起きる様々な心配ごと
- ☆ 病気のことを知る怖さや不安について
- ☆ 在宅療養の支援について
- ☆ 家族が持っている悩みについて 等

人生の終わりまであなたはどのように過ごしたいですか？

もしものときのために

自らが望む、人生の最終段階の医療・ケアについて話し合ってみませんか

人生会議とは？

万が一の時に備えて、あなたの大切にしていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるかについて、自分自身で考えたりあなたの**信頼する人たちと話し合ったり**することを言います。

これらの話し合いは、もしもの時あなたの信頼する人があなたの代わりに治療やケアについて**難しい判断をする場合に重要な助け**になります。あなたにはこのような前もっての話し合いは必要ないかもしれませんが、でも話し合いをしておけば、万が一あなたが自分の気持ちを話せなくなったときには、心の声を伝えることができるかけがえのないものになり、ご家族やご友人の心の負担は軽くなることでしょう。

人生会議のすすめ方

人生会議の話し合いは5つのステップをもとに進めていきます。



1 考えてみましょう

大切にしていることは何か考える

2 信頼できる人が誰かを考えてみましょう

あなたが信頼していて、受ける治療やケアについていざというときに代わりに話し合ってもらいたい人

3 主治医に質問してみましょう

病名や病状、予想される今後の経過。必要な治療やケアについて

4 話し合みましょう

治癒が不可能な病気になり回復が難しい状態になったときのことを考えてみます

5 伝えましょう

話し合いの内容を医療・介護従事者に伝えておきましょう

心身の状態に応じて意思は変化することがあるため、何度でも、繰り返し考え、話し合みましょう。

次回は一つ一つの内容を詳しくお話していきます。

